2026 春季号 Vol.114

# Honda Technical College Kansai H-TEC TIMES

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西
〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL. 072-366-9011　FAX.072-360-2230
発行責任者　校 長　海沼 弘樹

ホームページ・ケータイ サイト
https://www.hondacollege.ac.jp/honda_w

藤井 颯咲さん 送辞

中野 樹さん 答辞

## 〈令和7年度〉卒業式

| | |
|---|---|
| 自動車整備科 | 72名 |
| 自動車整備留学生科 | 19名 |
| 一級自動車研究開発学科 | 56名 |
| 卒業生 計 | 147名 |

3月11日(水)に大阪狭山市にあるSAYAKAホールにて、令和7年度卒業式を執り行いました。卒業式には、たくさんのご来賓、保護者様もご参列いただき、誠にありがとうございました。また、祝電ではHondaのレーシングアンバサダーの方々からのビデオレターを放映し、卒業生・参列者、また、Youtubeで視聴していたご家族の皆様も驚かれたものと思います。

ご卒業、誠におめでとうございます。自らの知識・技術で多くの方を喜ばし、感動させてください。皆様のご活躍を教職員一同、心よりお祈り申し上げます。

### 表彰者紹介

| | | | |
|---|---|---|---|
| ホンダ学園 理事長賞 | 一級自動車研究開発学科 | 4年3組 | 小畑 歩夢 |
| 大阪府私立学校児童・生徒知事賞 | 自動車整備科 | 2年3組 | 中野　樹 |
| 日本自動車整備振興会連合会 会長賞 | 自動車整備留学生科 | 3年1組 | グエンバオカー |
| 全国自動車大学校整備専門学校協会 会長賞 | 一級自動車研究開発学科 | 4年1組 | 山田 将義 |
| | 一級自動車研究開発学科 | 2年2組 | 大村 航輝 |
| ホンダ学園 校長賞 | 自動車整備科 | 2年2組 | チョウカチュン |
| | 一級自動車研究開発学科 | 4年2組 | 竹川 晃貴 |
| | 一級自動車研究開発学科 | 4年3組 | 永福 大晟 |
| 皆勤賞 | 一級自動車研究開発学科 | 4年1組 | 小泉 岳 他23名 |
| 努力賞 | 自動車整備科 | 2年1組 | 松村 晃聖 |
| | 自動車整備科 | 2年2組 | 佐藤　樹 |
| | 自動車整備留学生科 | 2年3組 | ルオンゴックイエンニー |
| | 自動車整備留学生科 | 3年1組 | リュウブンゴウ |
| | 自動車整備留学生科 | 3年1組 | モリナデリックグロリア |
| | 自動車整備留学生科 | 3年1組 | ファムチュンドゥック |
| | 一級自動車研究開発学科 | 4年1組 | 浪花 承太郎 |
| | 一級自動車研究開発学科 | 4年3組 | 松本 大輝 |
| | 一級自動車研究開発学科 | 4年3組 | 星原 颯一 |
| 大阪府専修学校各種学校連合会 理事長賞 | 一級自動車研究開発学科 | 2年2組 | 陳　冠宇 |
| | 一級自動車研究開発学科 | 4年2組 | 土屋　涼 |
| | 一級自動車研究開発学科 | 4年3組 | 梅田 大輝 |
| ホンダ学園賛助会 会長賞 | 一級自動車研究開発学科 | 4年2組 | 岡本 和真 |
| 大阪府専修学校各種学校連合会 理事長賞 | 一級自動車研究開発学科 | 4年1組 | 山田 将義 |
| | 一級自動車研究開発学科 | 2年2組 | 大村 航輝 |
| ホンダ学園 理事長賞 | 一級自動車研究開発学科 | 4年3組 | 小畑 歩夢 |

## 理事長祝辞　清水 光太郎　祝辞

本日の卒業式にあたり、学校法人ホンダ学園を代表し、心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これまで皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

皆さんが今日手にされた卒業証書は、学業を修めた証であるとともに、努力を重ねてきた日々の成果です。授業や実習はもちろん、部活動や同好会などの活動、そして多くの出会いを通して、皆さんは人としても大きく成長されました。これから社会人としてさらに経験を積み、それぞれの分野で活躍されることを期待しています。

環境問題や社会の変化に対応しながら、Hondaもカーボンニュートラルの実現や交通事故死者ゼロを目指して挑戦を続けています。このような時代だからこそ、皆さんには変化を恐れず、新しい道を切り開いていく存在となることが期待されています。

その際に大切にしてほしいのが、Hondaの基本理念である「三つの喜び」です。「買う喜び」「売る喜び」「作る喜び」という考え方は、常にお客様のことを第一に考えるという精神を示しています。迷うことがあれば、この理念を思い出し、お客様の視点に立って行動してください。

皆さんが自動車産業の未来を担う人材として大きく成長されることを願うとともに、今後のさらなる活躍を心より期待しています。

※内容を一部要約・抜粋して掲載しています

## 校長式辞　海沼 弘樹　式辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでホンダ学園で学び、努力を重ねてきた日々に心から敬意を表します。皆さんは授業や実習だけでなく、委員会活動や部活動、さまざまな行事や地域活動を通して多くの経験を積み、大きく成長してきました。そして確かな技術と知識を身につけました。

ホンダ学園は「技術だけではなく、世界に歓迎される人間の育成」を建学の志としています。皆さんがここで培った力は、社会に出てから必ず皆さんを支える大きな基盤になります。

企業の方々からも、ホンダ学園の卒業生は知識と技術に加え、誠実な姿勢や挨拶、対応力を備えた人材であると高く評価されています。これから社会に出れば、多くの出会いや経験が皆さんを待っています。夢を描き、その実現に向かって限られた時間を大切にしながら、一歩ずつ着実に歩んでください。

時間を大切にするとは、ただ忙しく過ごすことではなく、自分にとって大切なことを選び取り、その積み重ねで人生を豊かにしていくことです。

これまで支えてくれた家族や仲間への感謝を忘れず、次は周囲を支える存在として大きく成長してください。皆さんの未来が輝かしいものとなることを心より願っています。

※内容を一部要約・抜粋して掲載しています

Honda Technical College

## 創立50周年を迎えるにあたって

2026年にホンダ学園は創立50周年を迎えました。世の中の皆様に支えられながらホンダ学園が50年を歩んで来られたことに感謝し、学生たちが実践技術力を発揮しながらラリーにチャレンジする姿を世の中、そして世界で披露して、これからも“世界に歓迎される人間”、すなわち “人に愛され信頼される人間” を育成していく意思を示します。

### モンテカルロ

2台の初代シビックRSをレストアしラリー車に仕立て“第28回 ラリー モンテカルロ ヒストリック”へ参戦しました。ホンダ学園の有志学生が元F1ドライバーの佐藤琢磨さんとともに欧州の山岳地帯や都市を駆け抜け、無事完走しました。

### カブチャレ

学生がレストアしたSuper Cub(4台)にまたがり北は北海道から南は九州までこれまでの感謝をこめた全国行脚を行います。

関西校では西日本をメインに各地の観光名所やホンダイベント会場を目指して走行します。